

平成30年 第1回 厚沢部町総合教育会議会議録

招集年月日	平成30年 2月 8日			
招集場所	厚沢部町図書館会議室			
会議の日時	開 会	平成30年 2月 9日 午後 3時00分		
	閉 会	平成30年 2月 9日 午後 3時50分		
出席者の数	構成員6名のうち出席者4名			
出席者	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	町 長	渋田 正己	教育委員	佐藤 祐子
	教育長	鈴木 聡		
	教育委員	尾山 君兆		
欠席者	教育委員 谷口 智則、教育委員 竹中 忍			
事務局・参与	事務局 <small>(総務政策課長)</small>	朝倉 秀美	参 与 <small>(教委主幹)</small>	三上 光憲
	事務局 <small>(総務係長)</small>	小西 智晴	参 与 <small>(学校教育係長)</small>	森 英治
	参 与 <small>(教委事務局長)</small>	高野 政人	参 与 <small>(生涯学習推進アドバイザー)</small>	大村 徳則
付議事件	別紙のとおり			
会議の経過	別紙のとおり			
会議録記載者	教育委員会学校教育係 上 條 公 大			

付 議 事 件	
議案番号	件 名
議題第 1 号	厚沢部町教育大綱の策定について

会 議 の 経 過

開 会	事務局 町長	午後3時00分	
		只今から第1回厚沢部町総合教育会議を開催いたします。開会にあたり町長からご挨拶を申し上げます。	
		平成30年、第1回厚沢部町総合教育会議の開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が、平成27年4月1日から施行されたところであります。この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることとされました。	
		厚沢部町においても、町長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して教育行政の推進を図るため、平成27年に「厚沢部町総合教育会議」を設置したところであります。総合教育会議において「第6次厚沢部町教育推進中期計画」をもって教育行政の大綱とし、また学校統合再編を進める上で指針となる「学校適正配置計画」など、教育条件整備の上で重点的に講ずべき施策について、協議・調整を行ってきたところであります。「学校適正配置計画」に基づき、美和小学校については昨年3月31日に閉校し厚沢部小学校へ統合され、鶉中学校及び館中学校については生徒数及び複式学級の形態を考慮し、町内3中学校の統合再編を図ってきたところであります。	
		厚沢部中学校、鶉中学校の閉校式はすでに終了し、今月18日には館中学校の閉校式が開催される予定となっており、現在の三つの中学校は本年3月31日をもって閉校し、4月には新生厚沢部中学校として開校することとなります。今後も、総合教育会議を通じ、学校教育と社会教育の一体的な推進や、幼児教育と保育、教育行政と福祉・雇用・地域振興など、広い分野にわたる行政との連携が、より円滑に推進されることを期待するものであります。	
		教育委員会の皆様におかれましては、今後とも、教育行政の充実、発展のため、一層のご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます、一言ごあいさつといたします。	
		(総合教育会議の構成員について説明。)	
		本日は谷口委員および竹中委員が欠席であります。	
		付議事件に入ります。町長の進行でお願いします。	
		議題第1号、厚沢部町教育大綱の策定について説明願います。	
		議題第1号について説明	
		いま大村アドバイザーよりいろいろと説明がありましたが、委員の皆さんから質問等がありましたら承ります。ございませんか。(質問なし。)一つ聞きたいのですが、心配ごとになるかと思いますが、芸術文化という項目を	
		議題第1号	町長 参与 町長

会 議 の 経 過

	<p>与えて説明をしているところで、心豊かで生き生きとした生活を送るための芸術文化活動の推進・充実を図るといふ重点推進事項になっているんですけど、ここ数年間見るとますます停滞しているような気がしてしょうがないです。例えば社会教育・文化団体だとかこういうものの活動はかつて4、5年前までは大変な活発な活動がありました。最近はこの文化団体の活動は、まず見えないと感ずます。これはどのような理由で停滞化しているのでしょうか。</p>
<p>大村ADV</p>	<p>端的に言えば人が少なくなっている、これまで一生懸命やられてきた方たちがだんだん高齢化しているという状況もあり中々発展していけない状況にあるかと思っています。先日、つぼっこ汁教室やかだっこ餅教室をしていくなかで、そういう文化や伝統をしっかりと子供たちに繋いでいくことや取り組みがこれからそういうものに取り組む人材を確保していく、育成していくという部分でも必要であり、求められていく様に感ずます。もうひとつ、いまの小中学校に芸術鑑賞会をやっておりますけれども、いろんな形で良いものに触れる・見せる・聞かせるという体験も必要になってくる感ずています。</p>
<p>町長</p>	<p>確かに若い人も少なくなっているのかも知れないし、そういうものに興味を持つ人が減っているのかもしれませんが、高齢者になってしまいましたが瀧野沢さんとかあいう方が若いときはコーラスでも何の行事であれ、率先して入ってきて、活動しておった時代があります。最近はそのリーダー格がいらないのか、そういうものに引張る人が少ないのかそういう部分が厚沢部は弱いなと思います。小さいときから見てきましたが、伝承文化のひとつである鹿子舞も厚沢部だけで6つあったわけですから。それがせいぜい4月の鹿子舞の交流会で2つでしょ。大変先細りだなと思っております。編成の仕方なり取り組みの形の指導者もいないのか、例えば当路では、館一帯の人が集まって若い人を教育して、囃子でも踊り手でも作っている。対して下地区では、上里でも富栄でも完全に高齢化して肩から息しながら踊っているからね。こういうのはいつまでもは持たないなと思っております。地域にどうやって伝承していくかというのは大事なんだけれどもこういう部分に行政は、教育委員会は どうやって入っていけるか重点推進事項のなかでこういうことをすべきという具体的な方策をもっていかなければ、そして彼らの活動に入っていかなければ尻すぼみになっていってしまうと心配しています。折角、古い伝統のある文化財ですから、どうにか活かし方がないかなと思っております。例えば、発表の場がなければ一生懸命練習をしないと</p>

会 議 の 経 過

		<p>思いますし、教育委員会の何らかの行事の中で発表の場面を作っていくことで一生懸命練習するだろうし、仲間に入っていくものもあるだろうと思いたすがいかがですか。</p>
大村ADV		<p>発表の場は必要でしょうし、このままではなくなってしまうという危機意識をみんなに持ってもらう必要があると思います。</p>
町長		<p>来年の御用始の交礼会で若い鹿子舞の出番を作るとか、子どもたちの出番を作るとか、これによって張り切るものも出てくるだろうし。かつては館の婦人部が鹿子舞をやったこともありましたが、家族が見にきたり盛り上がりが出てきます。いろんな手だてがあるかと思いますが、社会教育の中でしっかり議論してもらって重点推進事項として取り組んでいてもらいたいと思います。皆様のなかで他に何かありますか。（意見無し）</p> <p>それからもう一つ、前から私聞きたいと思っていたんだけど、他町に子どもの不登校が大変あると聞いていまして、厚沢部にはないのかと聞かれても聞いたことがないのでないと答えていましたが、話を聞くと今までにあったと聞きますが、学校教育の中での不登校やあるいはじめ、こういうものが教育推進計画の中でどこの部分できちっと押さえ、どこの部分でどういう指導をして、どこの部分でどういう連携を取るということが強くなければこれは防ぎようがないと思います。ともかく教育法が変わったというのは、教育委員会と行政が離れすぎて、町長部局に情報が入ってこなくなったというのがそもそもの問題となって教育法が変わった訳ですから。町内であることについてはお互いに交渉し合いながら、そしてどういう対策を取るかまできちりと進めていかなければ、教育推進計画も絵に描いた餅になりますから。その辺も町全体で対策を練っていくのが大事だろうと思います。これからもお互いに連携し合うということで、教育委員会も行政の方に報告をしていたく様をお願いします。他にみなさんからございますか。（意見無し）</p> <p>それでは議題のその他について何かありますか。</p>
事務局長		<p>今回、総合教育会議の中で情報共有していただくということで提出しています。北海道で平成29年12月に作成しました北海道における教員育成指標をお配りしております。冊子については内容の細かい部分までありますのであとで目を通していただくとしまして、概要版ということでお配りしている2枚もので説明してまいります。</p> <p>（北海道における「教員育成指標」について説明）</p> <p>道教委の方では引き続き検討していくという事であり、道教委が策定した指標を参考に教員の育成を図っていくということになるかと思っておりますので今回、情報提供させていただきました。</p>
町長		<p>今の説明の中では、北海道が先生方に対する教育を図っていくもので一回しっかりと読み込まないと意味合いを捉えるのが大変だと思います。確かに</p>

